

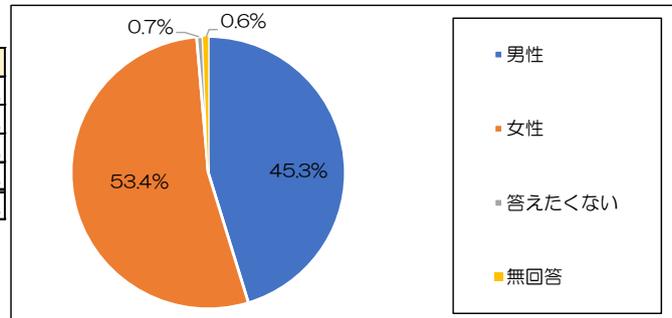
13. 「環境に関する市民等意識調査」結果（2020（令和2）年11月～12月実施）

（1）一般市民（配布数：1800人、回収数：813人）

問1 あなたの性別は？

男性が45.3%、女性が53.4%、無回答が0.6%でした。

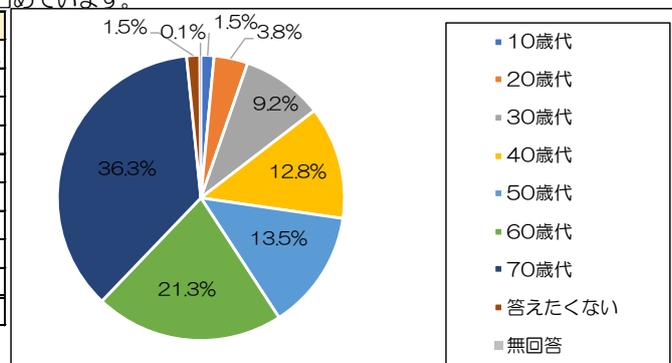
	人数（人）	割合（%）
男性	368	45.3%
女性	434	53.4%
答えたくない	6	0.7%
無回答	5	0.6%
合計	813	100.0%



問2 あなたの年齢は？

60歳代、70歳代以上が合わせて57.6%と半数以上を占めています。

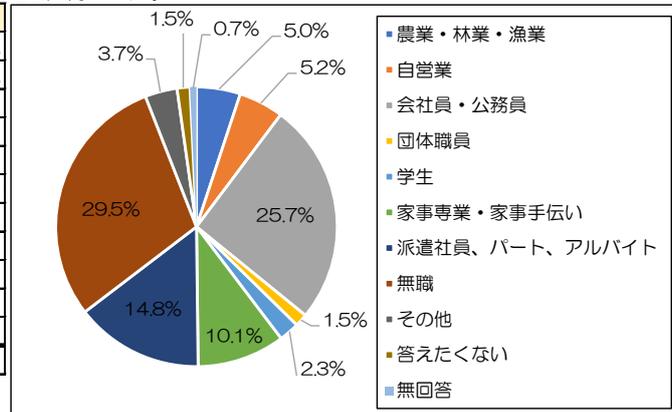
	人数（人）	割合（%）
10歳代	12	1.5%
20歳代	31	3.8%
30歳代	75	9.2%
40歳代	104	12.8%
50歳代	110	13.5%
60歳代	173	21.3%
70歳代	295	36.3%
答えたくない	12	1.5%
無回答	1	0.1%
合計	813	100.0%



問3 あなたの職業は？

無職が29.5%と最も多く、次いで会社員・公務員が25.7%でした。

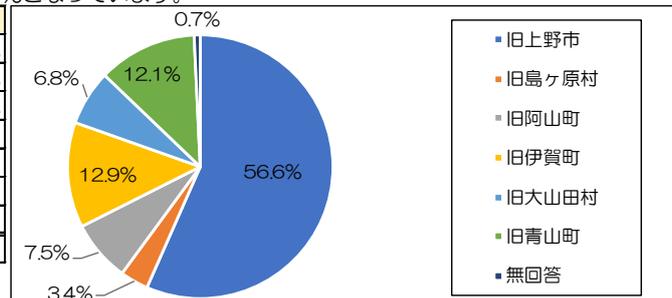
	人数（人）	割合（%）
農業・林業・漁業	41	5.0%
自営業	42	5.2%
会社員・公務員	209	25.7%
団体職員	12	1.5%
学生	19	2.3%
家事専業・家事手伝い	82	10.1%
派遣社員、パート、アルバイト	120	14.8%
無職	240	29.5%
その他	30	3.7%
答えたくない	12	1.5%
無回答	6	0.7%
合計	813	100.0%



問4 あなたのお住いの地区は？

旧上野市が56.6%と最も多く、次いで旧伊賀町の12.9%となっています。

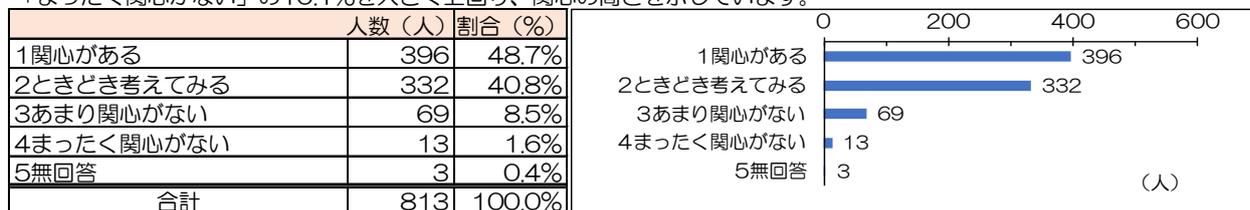
	人数（人）	割合（%）
旧上野市	460	56.6%
旧島ヶ原村	28	3.4%
旧阿山町	61	7.5%
旧伊賀町	105	12.9%
旧大山田村	55	6.8%
旧青山町	98	12.1%
無回答	6	0.7%
合計	813	100.0%



I 環境に対する関心度

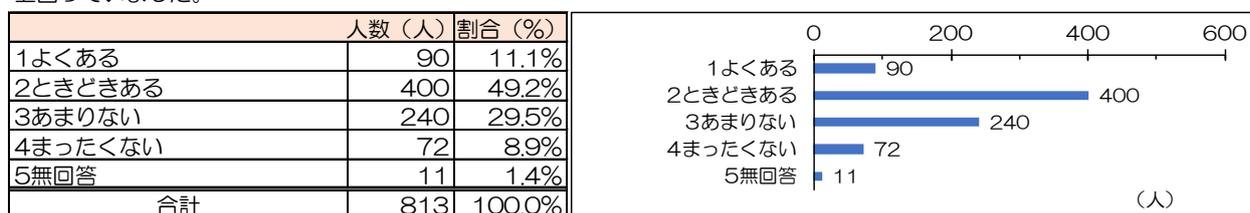
問5 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境について、関心はありますか。

「関心がある」、「ときどき考えてみる」を合わせると89.5%となり、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」の10.1%を大きく上回り、関心の高さを示しています。



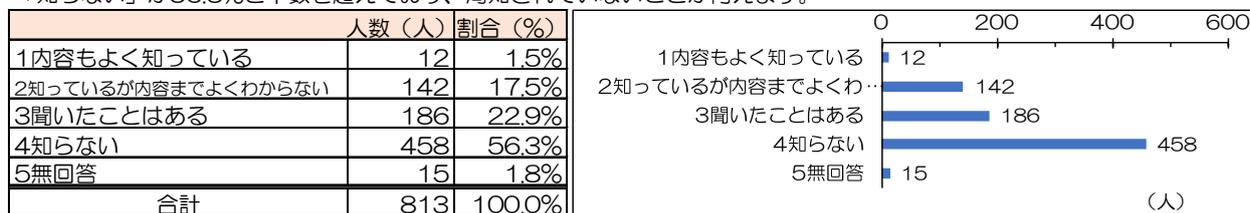
問6 家庭や職場などで環境の話題について話し合ったことはありますか。

「よくある」、「ときどきある」を合わせると60.3%となり、「あまりない」、「まったくない」の38.4%を上回っていました。



問7 あなたは伊賀市環境基本条例に基づき策定された「伊賀市環境基本計画」(2007年度～2015年度)を知っていますか。

「知らない」が56.3%と半数を超えており、周知されていないことが伺えます。



問8 あなたの現在、関心のある環境問題は。

「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」が12.6%と最も多く、次いで「ごみの減量化、リサイクルなどの問題」が11.8%、「地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題」が10.9%となっています。

	人数(人)	割合(%)
1工場煙突などからの大気汚染	59	2.6%
2自動車の排出ガス	85	3.7%
3家畜やごみ処理施設・処分場などからの悪臭	110	4.8%
4家庭からの生活排水や工場排水などの水質汚濁	161	7.0%
5自動車や工場などの騒音・振動問題	50	2.2%
6ごみ焼却場などの一般廃棄物処理施設の問題	103	4.5%
7工場からの産業廃棄物の排出及びその処理施設の問題	36	1.6%
8不法投棄など廃棄物の不適正な処理	288	12.6%
9ごみの減量化、リサイクルなどの問題	271	11.8%
10有害化学物質や農薬、ダイオキシン類、アスベストなどの問題	89	3.9%
11地下水の汲み上げなどによる地盤沈下	18	0.8%
12地下水や水道水源の汚染問題	77	3.4%
13森や林、河川などの自然環境の破壊	238	10.4%
14里山・田畑などの身近な自然環境の消失	204	8.9%
15地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題	250	10.9%
16マイクロプラスチックによる河川、海洋汚染	174	7.6%
17特に関心がない	30	1.3%
18その他	31	1.4%
19無回答	13	0.6%
合計	2287	100.0%

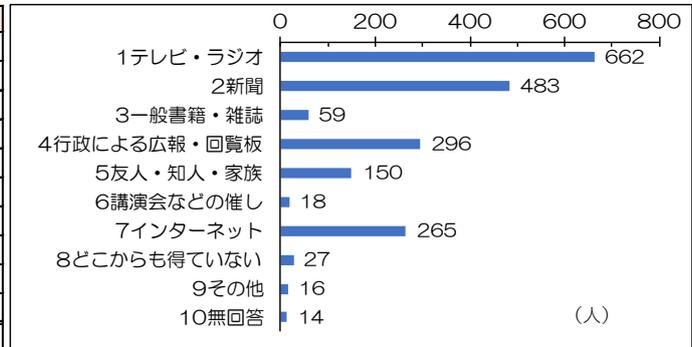


II 環境の情報について

問9 環境に関する情報はどこで入手しますか。

「テレビ・ラジオ」及び「新聞」が最も多く、マスメディア主体となっており、次いで「行政による広報・回覧板」となっています。

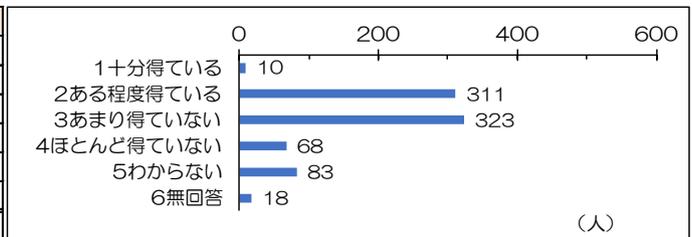
	人数(人)	割合(%)
1テレビ・ラジオ	662	33.3%
2新聞	483	24.3%
3一般書籍・雑誌	59	3.0%
4行政による広報・回覧板	296	14.9%
5友人・知人・家族	150	7.5%
6講演会などの催し	18	0.9%
7インターネット	265	13.3%
8どこからも得ていない	27	1.4%
9その他	16	0.8%
10無回答	14	0.7%
合計	1990	100.0%



問10 環境に関する情報入手は十分ですか。

「あまり得ていない」が39.7%と最も多く、次いで「ある程度得ている」が38.3%となっています。

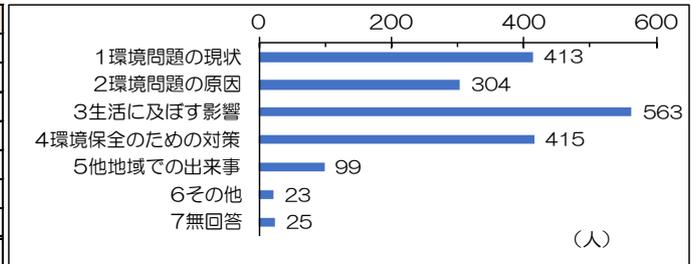
	人数(人)	割合(%)
1十分得ている	10	1.2%
2ある程度得ている	311	38.3%
3あまり得ていない	323	39.7%
4ほとんど得ていない	68	8.4%
5わからない	83	10.2%
6無回答	18	2.2%
合計	813	100.0%



問11 環境に関して、不足している(知りたい)情報は何か。

「生活に及ぼす影響」が30.6%と最も多く、次いで「環境保全のための対策」が22.5%、「環境問題の現状」が22.4%となっています。

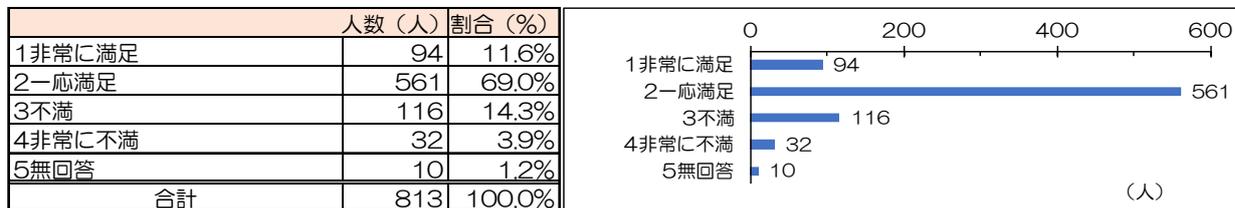
	人数(人)	割合(%)
1環境問題の現状	413	22.4%
2環境問題の原因	304	16.5%
3生活に及ぼす影響	563	30.6%
4環境保全のための対策	415	22.5%
5他地域での出来事	99	5.4%
6その他	23	1.2%
7無回答	25	1.4%
合計	1842	100.0%



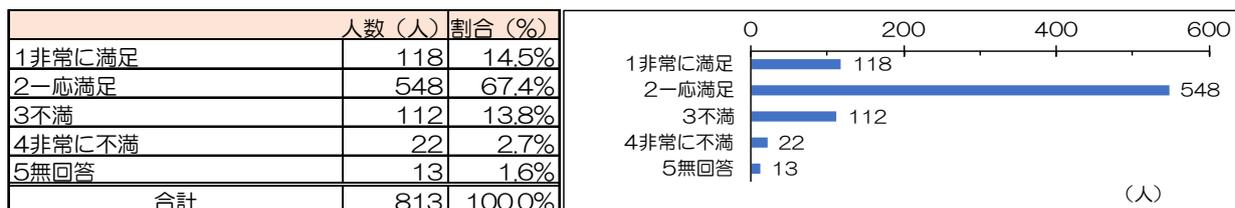
Ⅲ 環境の現状に対する評価

問12 私たちが日常暮らしているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また、伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、満足していますか。

ア. 空気やにおいのさわやかさ（空気の汚れや悪臭がなくさわやかな空気であること）



イ. 音の静かさ（車や工場の騒音や振動が気にならないこと）



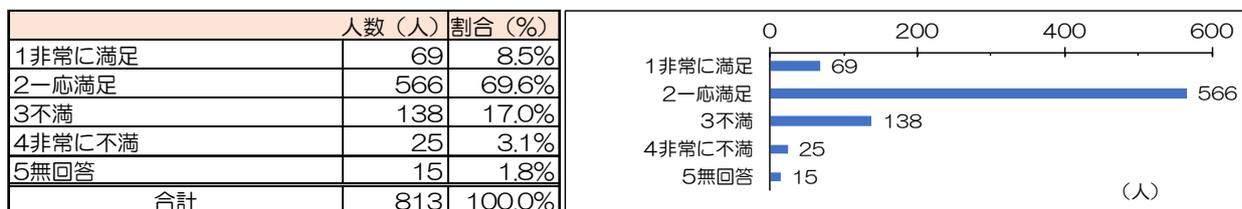
ウ. 川やため池の水のきれいさ（身近な川やため池の水や岸辺がきれいであること）



エ. 自然の緑の豊かさ（山や森の木々が豊富で多彩であること）

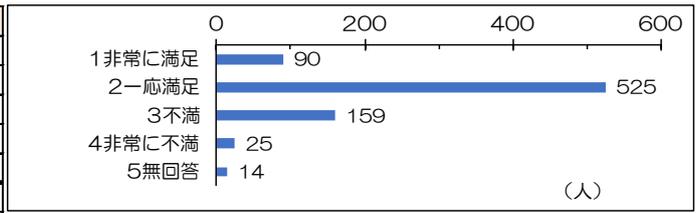


オ. 公園や広場などまちの緑の豊かさ（身近な公園や街路樹の木々が豊富であること）



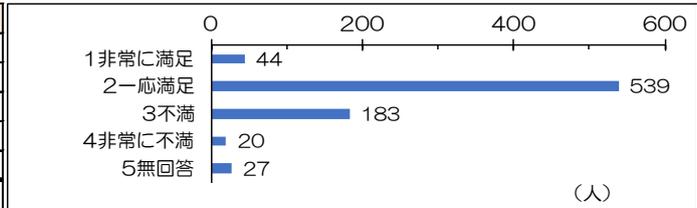
カ. 自然の生物とのふれあい（野鳥のさえずりやホタルなどの昆虫が身近に生息すること）

	人数(人)	割合(%)
1非常に満足	90	11.1%
2一応満足	525	64.6%
3不満	159	19.6%
4非常に不満	25	3.1%
5無回答	14	1.7%
合計	813	100.0%



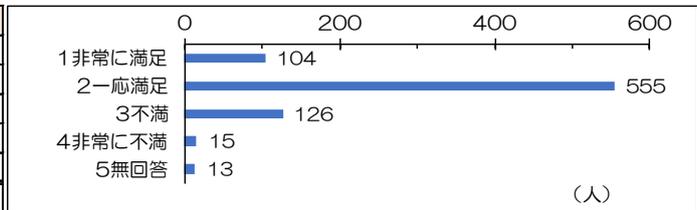
キ. 文化財への接しやすさ（史跡・建造物などの歴史的遺産が保存整備され活用できること）

	人数(人)	割合(%)
1非常に満足	44	5.4%
2一応満足	539	66.3%
3不満	183	22.5%
4非常に不満	20	2.5%
5無回答	27	3.3%
合計	813	100.0%



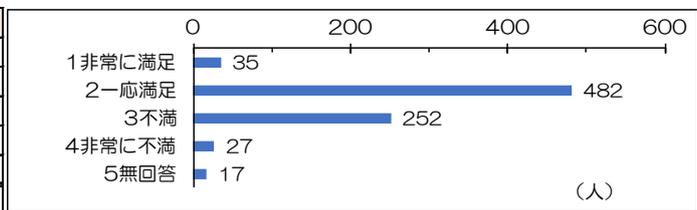
ク. 自然の景色の美しさ（山並みや水辺などの景観の美しさ）

	人数(人)	割合(%)
1非常に満足	104	12.8%
2一応満足	555	68.3%
3不満	126	15.5%
4非常に不満	15	1.8%
5無回答	13	1.6%
合計	813	100.0%



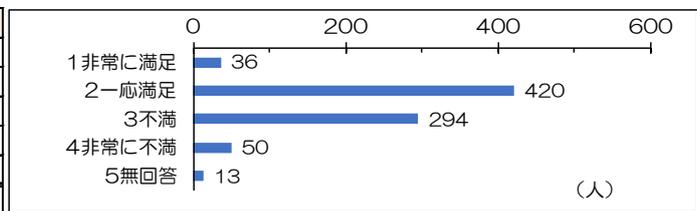
ケ. 街並みの景色の美しさ（建物や他の構造物が全体に調和し看板や広告が氾濫していないこと）

	人数(人)	割合(%)
1非常に満足	35	4.3%
2一応満足	482	59.3%
3不満	252	31.0%
4非常に不満	27	3.3%
5無回答	17	2.1%
合計	813	100.0%



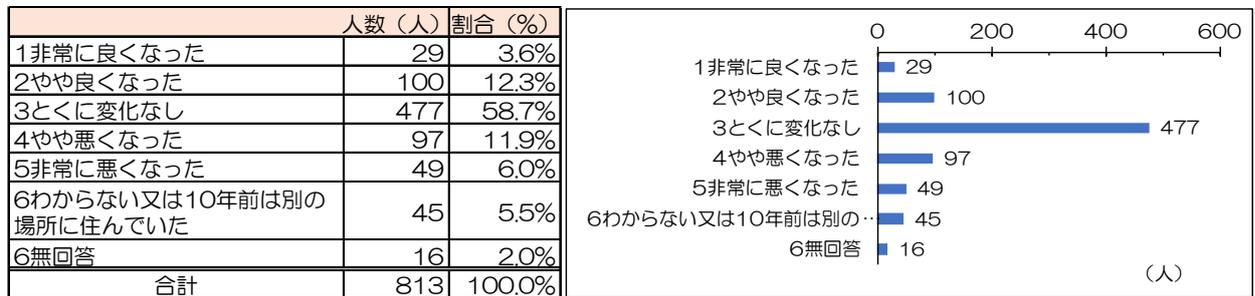
コ. まちの清潔さ（ごみが落ちていない、側溝などが汚くない）

	人数(人)	割合(%)
1非常に満足	36	4.4%
2一応満足	420	51.7%
3不満	294	36.2%
4非常に不満	50	6.2%
5無回答	13	1.6%
合計	813	100.0%

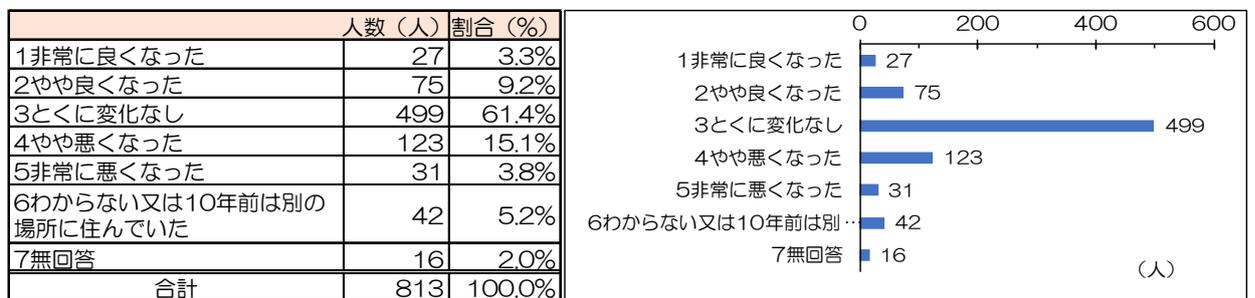


問13 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、10年ぐらい前（一昔前）と比較して、良くなっていると思いますか。

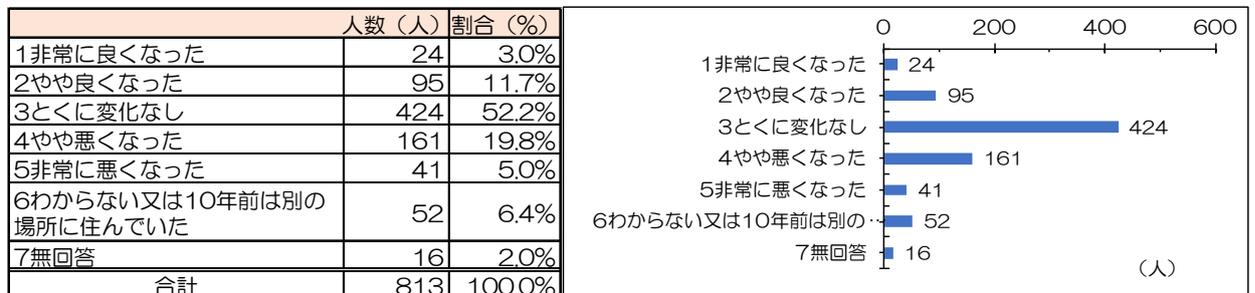
ア. 空気やおいのさわやかさ（空気の汚れや悪臭がなくなるとさわやかな空気であること）



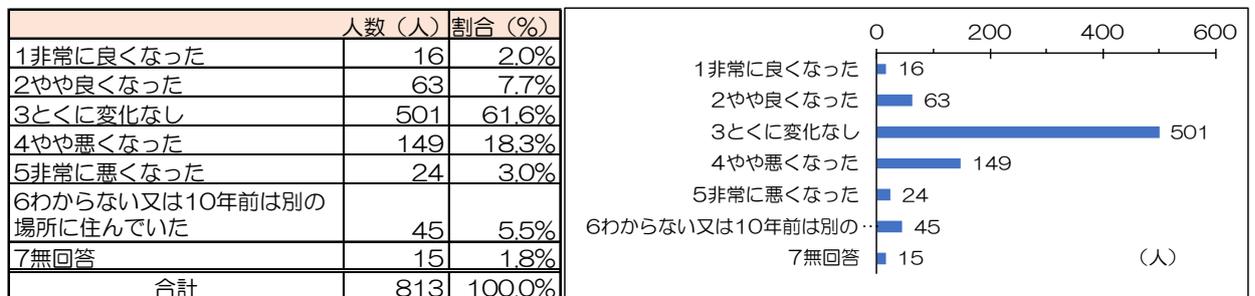
イ. 音の静かさ（車や工場の騒音や振動が気にならないこと）



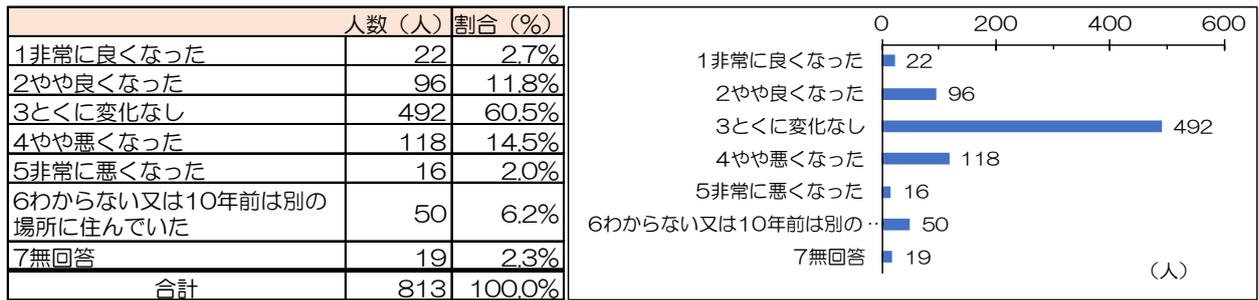
ウ. 川やため池の水のきれいさ（身近な川やため池の水や岸辺がきれいであること）



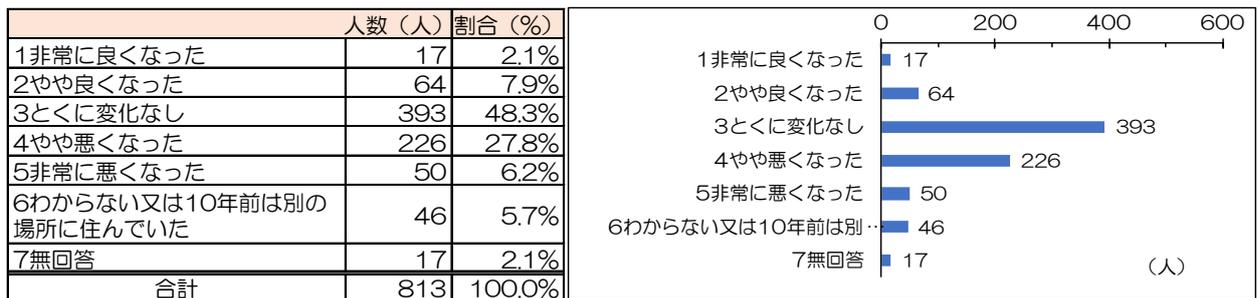
エ. 自然の緑の豊かさ（山や森の木々が豊富で多彩であること）



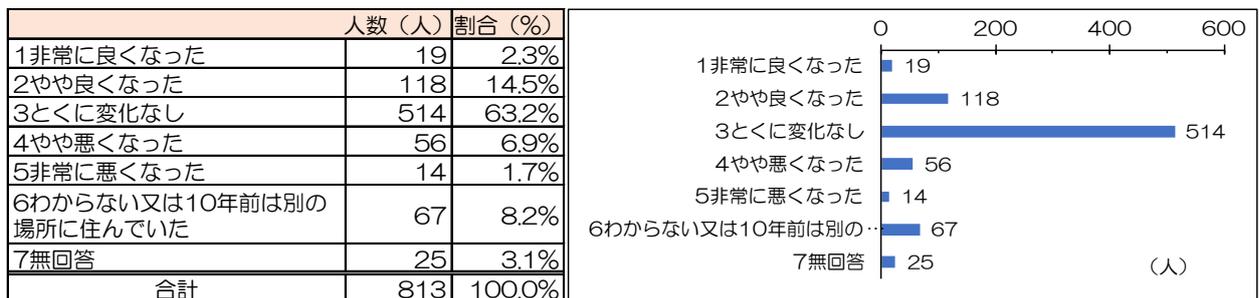
オ. 公園や広場などまちな緑の豊かさ（身近な公園や街路樹の木々が豊富であること）



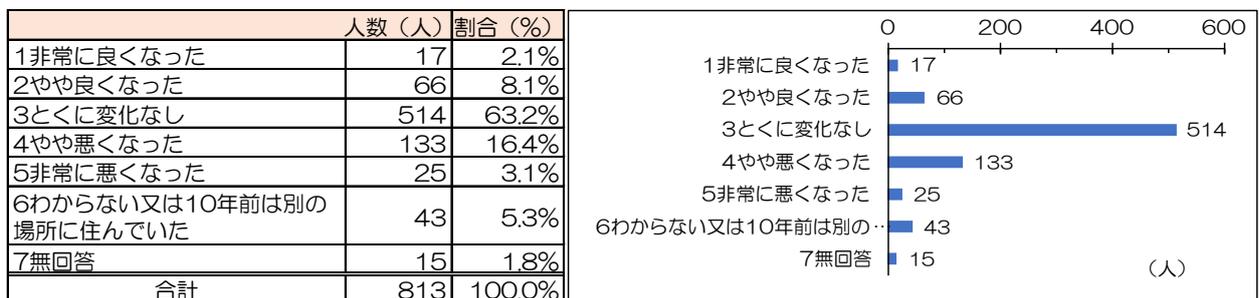
カ. 自然の生物とのふれあい（野鳥のさえずりやホタルなどの昆虫が身近に生息すること）



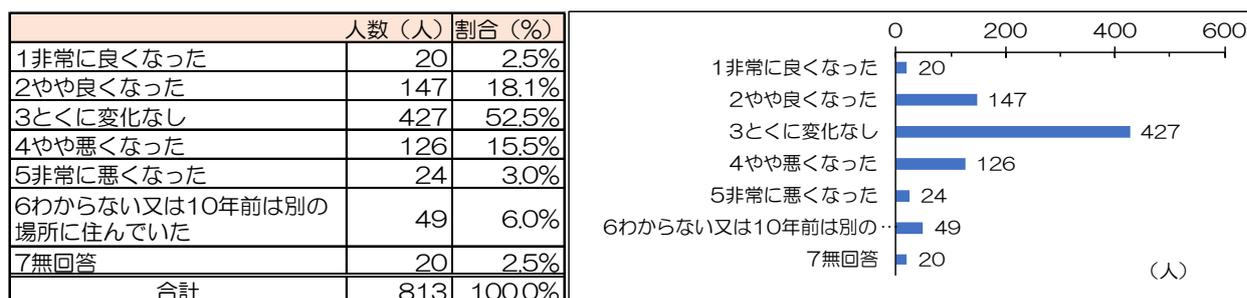
キ. 文化財への接しやすさ（史跡・建造物などの歴史的遺産が保存整備され活用できること）



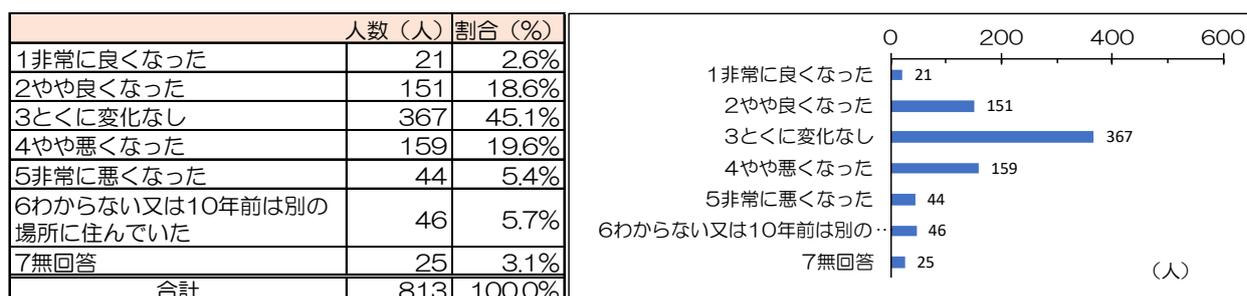
ク. 自然の景色の美しさ（山並みや水辺などの景観の美しさ）



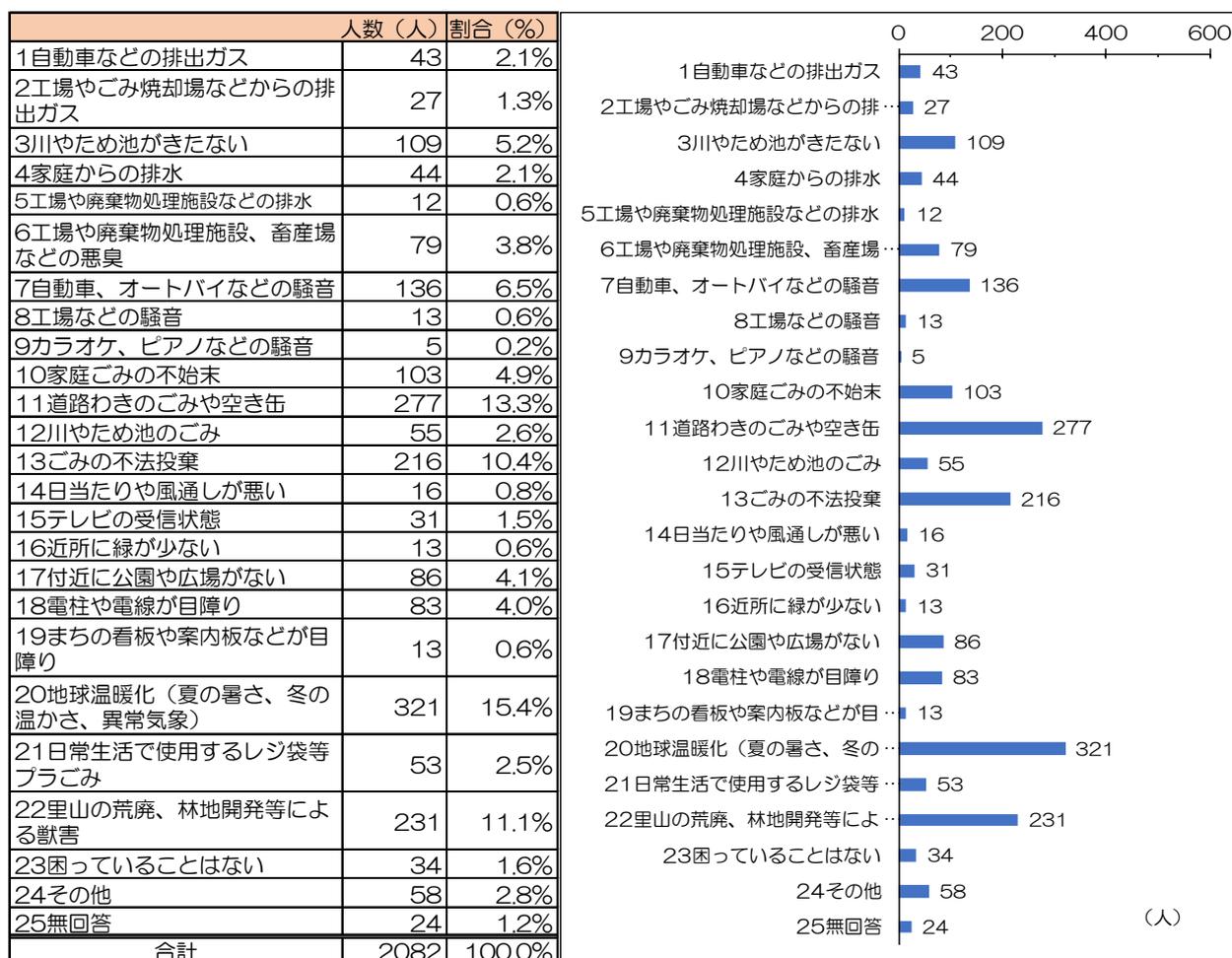
ケ. 街並みの景色の美しさ（建物や他の構造物が全体に調和し看板や広告が氾濫していないこと）



コ. まちの清潔さ（ごみが落ちていない、側溝などが汚くない）

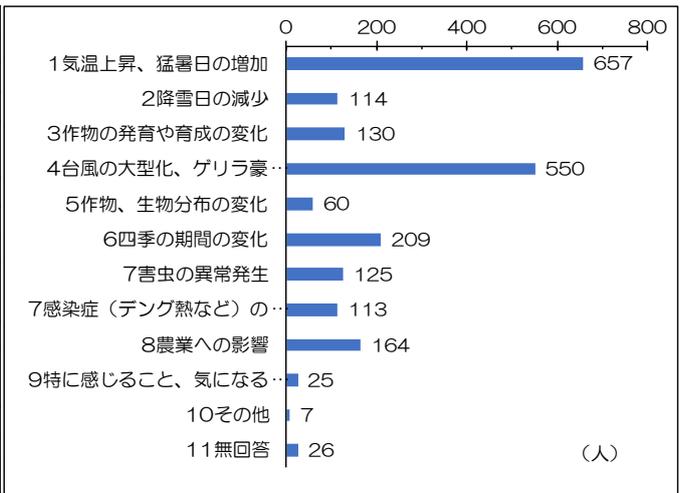


問14 私たちの身近な暮らしの中で環境面で困っていること、気になることは何ですか。



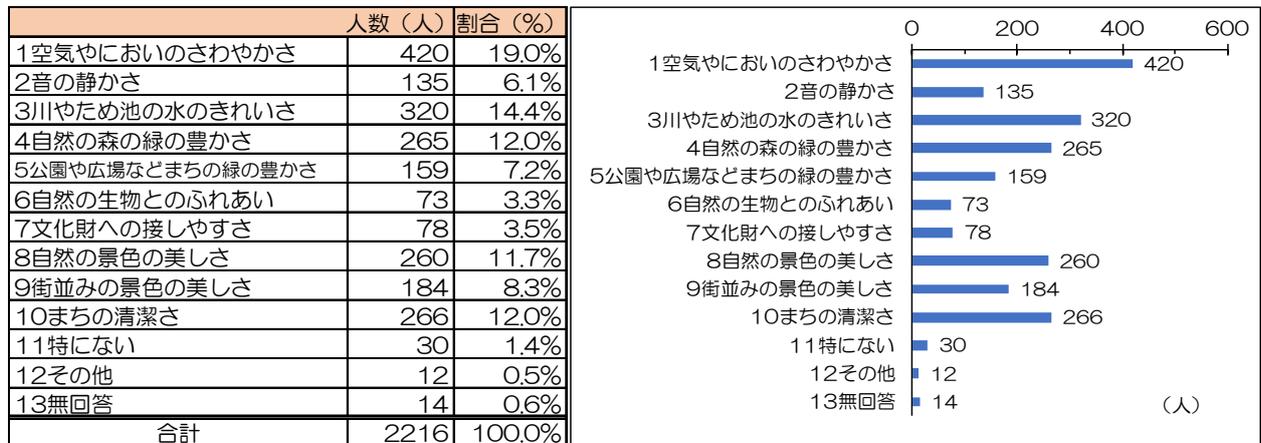
問15 地球温暖化について感じることは何ですか。また、気になることは何ですか。

	人数(人)	割合(%)
1気温上昇、猛暑日の増加	657	30.1%
2降雪日の減少	114	5.2%
3作物の発育や育成の変化	130	6.0%
4台風の大型化、ゲリラ豪雨・洪水の発生	550	25.2%
5作物、生物分布の変化	60	2.8%
6四季の期間の変化	209	9.6%
7害虫の異常発生	125	5.7%
7感染症（ Dengue熱など）の発生機会の増加	113	5.2%
8農業への影響	164	7.5%
9特に感じる事、気になることはない	25	1.1%
10その他	7	0.3%
11無回答	26	1.2%
合計	2180	100.0%

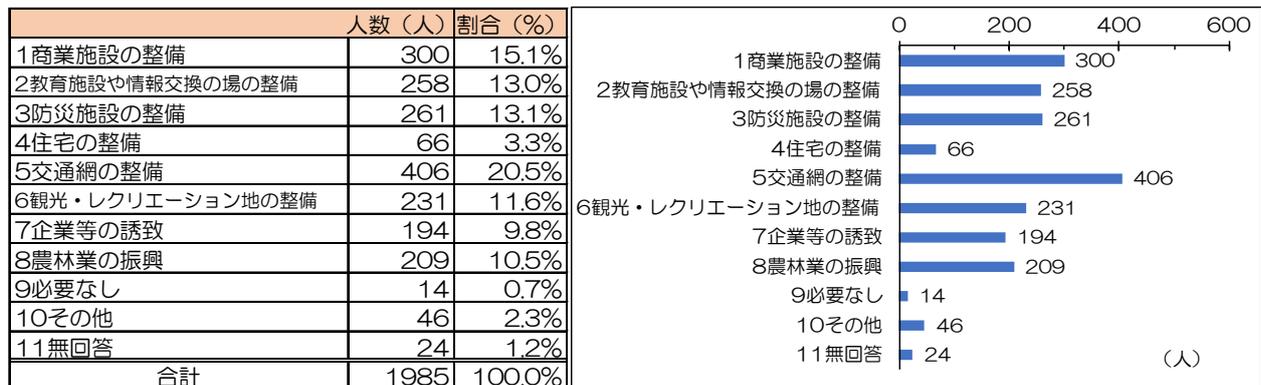


Ⅳ 望ましい環境像

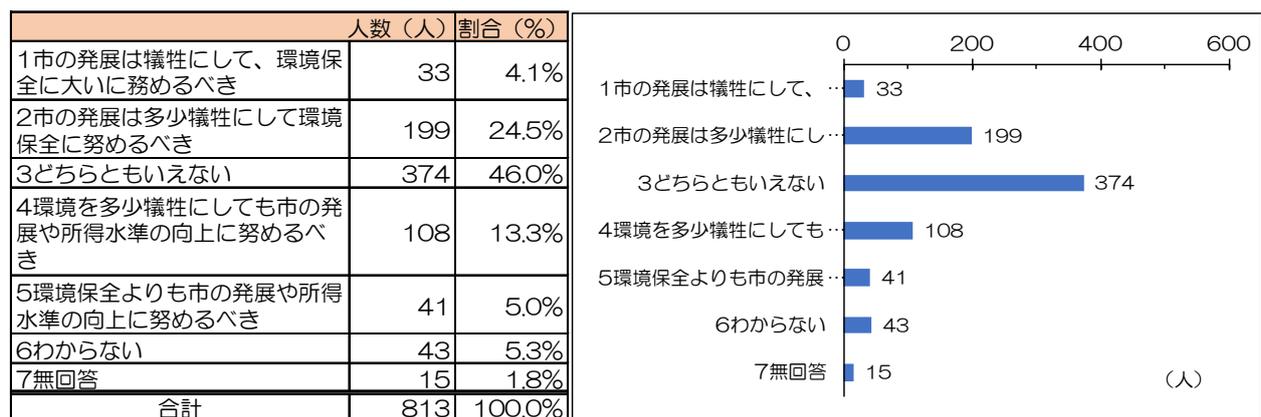
問16 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また、伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、最も大切なものは何ですか。



問17 地域の発展、活性化のため、伊賀市として最優先で取り組むべきものは何ですか。

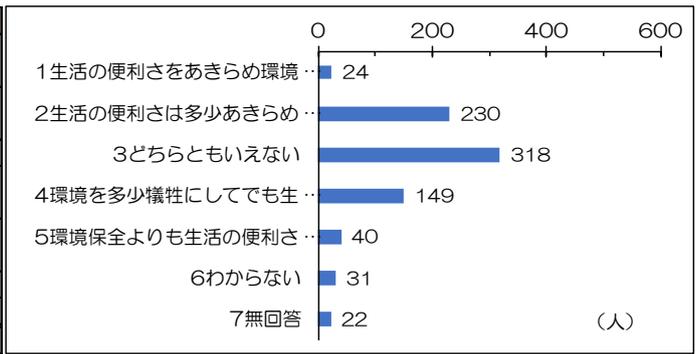


問18 環境を守ることと、伊賀市の発展のための開発や施設整備を進めることと、どちらを優先すべきですか。



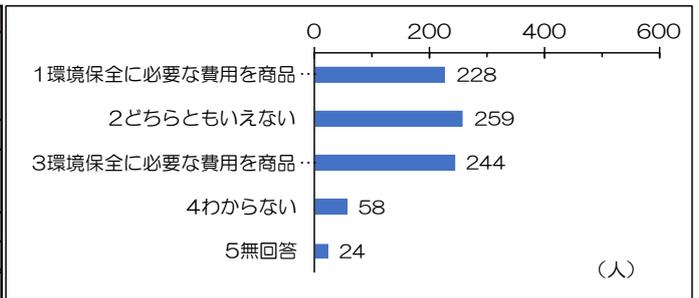
問19 環境を守ることと私たちのくらしの便利さを求めることとどちらを優先すべきですか。

	人数(人)	割合(%)
1生活の便利さをあきらめ環境保全に大いに努めるべき	24	2.9%
2生活の便利さは多少あきらめても環境保全に努めるべき	230	28.3%
3どちらともいえない	318	39.1%
4環境を多少犠牲にしても生活の便利さに努めるべき	149	18.3%
5環境保全よりも生活の便利さに大いに努めるべき	40	4.9%
6わからない	31	3.8%
7無回答	22	2.7%
合計	814	100.0%



問20 環境保全のため、市中で販売されている商品やサービスの価格について、費用が上乗せされることに賛成ですか。

	人数(人)	割合(%)
1環境保全に必要な費用を商品価格等に上乗せすることはやむを得ない	228	28.0%
2どちらともいえない	259	31.9%
3環境保全に必要な費用を商品価格等に上乗せすることは避けるべき	244	30.0%
4わからない	58	7.1%
5無回答	24	3.0%
合計	813	100.0%



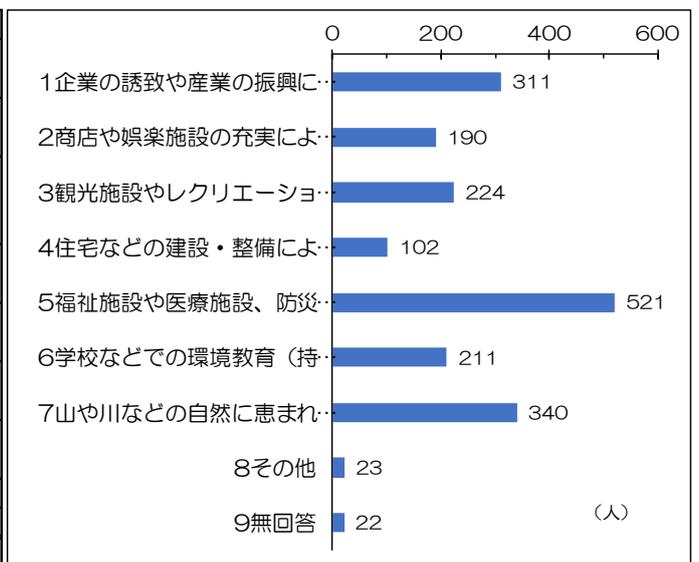
問21 自然との触れ合いのための施設の整備は必要だと思いますか。

	人数(人)	割合(%)
1森林等自然は、現状状態で残し施設等の設置は必要なものととめる	396	48.7%
2どちらともいえない	146	18.0%
3森林等の豊かな自然は多くの市民が自然と触れ合えるよう施設整備を進める	213	26.2%
4わからない	33	4.1%
5無回答	25	3.1%
合計	813	100.0%



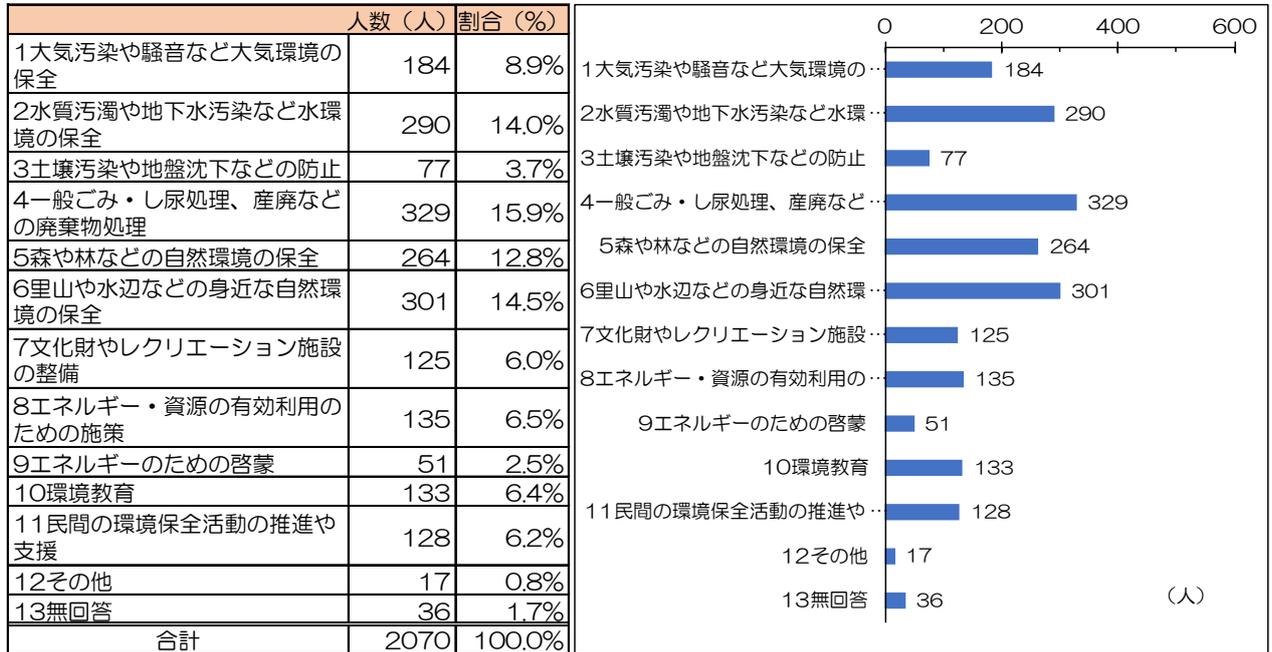
問22 伊賀市全体のイメージとして、どのようなイメージがふさわしいと思いますか。

	人数(人)	割合(%)
1企業の誘致や産業の振興により働く場所・機会のある活気のある街	311	16.0%
2商店や娯楽施設の充実により便利に暮らせる街	190	9.8%
3観光施設やレクリエーション施設の充実により観光客など多く人が訪れる街	224	11.5%
4住宅などの建設・整備により多くの人々が住む街	102	5.2%
5福祉施設や医療施設、防災施設の充実により安心して暮らせる街	521	26.8%
6学校などでの環境教育(持続可能な開発のための教育など)が充実する街	211	10.9%
7山や川などの自然に恵まれた静かな街	340	17.5%
8その他	23	1.2%
9無回答	22	1.1%
合計	1944	100.0%

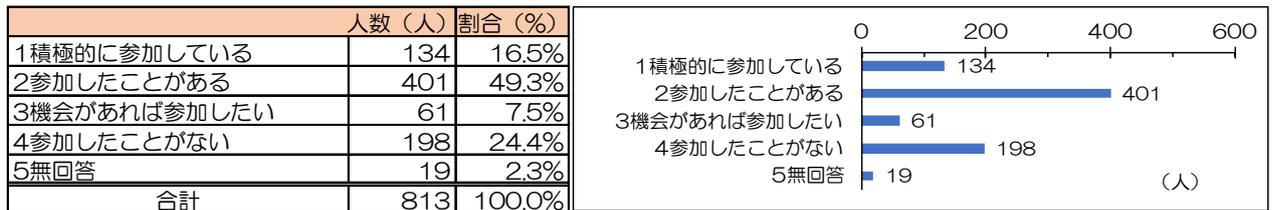


V 環境保全に対する取り組み

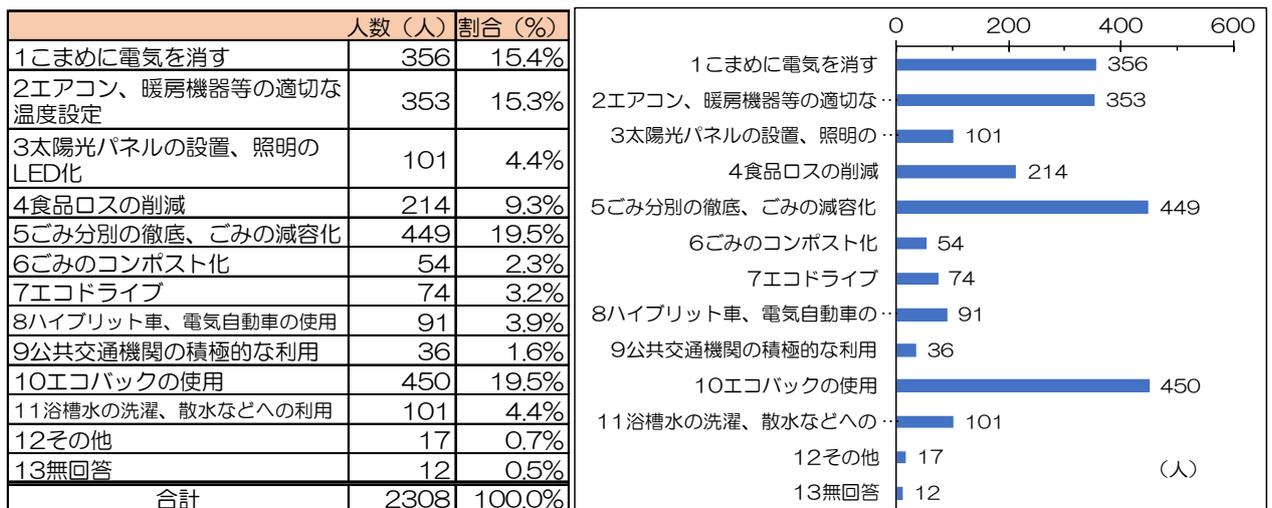
問23 環境保全のため、伊賀市として取り組むべきものは何ですか。



問24 地域の清掃活動や廃品回収、また、緑の植樹など環境保全に関する活動に参加したことはありますか。



問25 現在、あなたが取り組まれている環境に配慮した活動は何ですか。



問26 今後行いたい(参加したい)環境保全活動について。

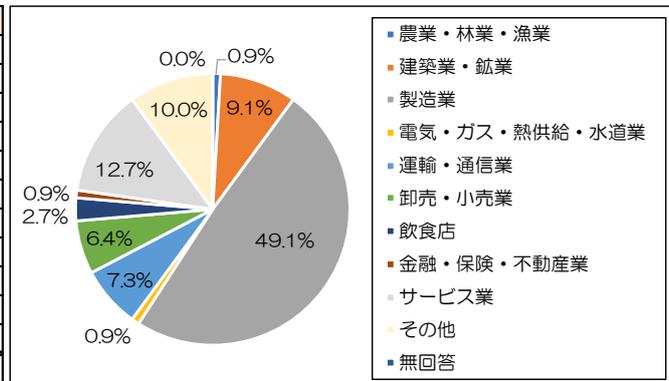
	人数(人)	割合(%)
1ごみの減量化やリサイクルの推進等 くらしの中での工夫や努力	538	36.9%
2市民活動や行事に参加	227	15.6%
3周囲の人への環境保全に対する 啓蒙活動	130	8.9%
4環境教育(持続可能な開発のため の教育など)への参加	123	8.4%
5市民センターなどで行っている市民 向けの環境指導への参加	139	9.5%
6自身は活動や参加は特にしないが環 境保全に必要な資金を負担してもかま わない	77	5.3%
7とくに活動に参加したいとは思わな い	190	13.0%
8無回答	35	2.4%
合計	1459	100.0%



(2) 事業所（配布数：200 事業所、回収数：事業所 110 事業所）

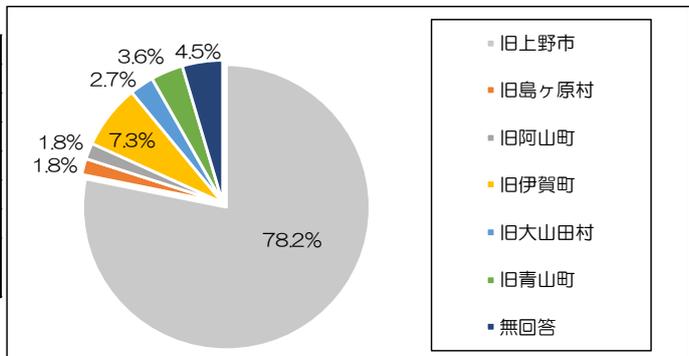
問1 貴事業所の業種は？

	人数(人)	割合(%)
農業・林業・漁業	1	0.9%
建築業・鉱業	10	9.1%
製造業	54	49.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.9%
運輸・通信業	8	7.3%
卸売・小売業	7	6.4%
飲食店	3	2.7%
金融・保険・不動産業	1	0.9%
サービス業	14	12.7%
その他	11	10.0%
無回答	0	0.0%
合計	110	100.0%



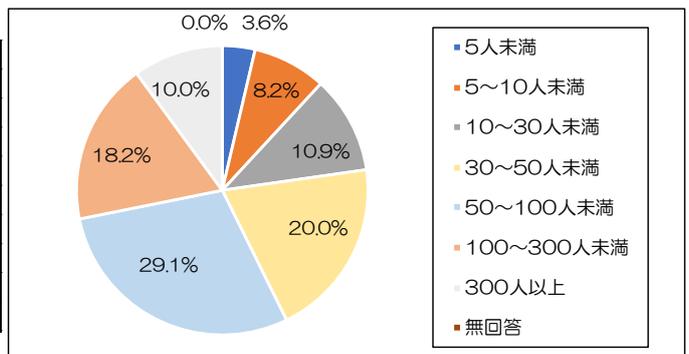
問2 貴事業所の所在地は？

	人数(人)	割合(%)
旧上野市	86	78.2%
旧島ヶ原村	2	1.8%
旧阿山町	2	1.8%
旧伊賀町	8	7.3%
旧大山田村	3	2.7%
旧青山町	4	3.6%
無回答	5	4.5%
合計	110	100.0%



問3 貴事業所の従業員数は？

	人数(人)	割合(%)
5人未満	4	3.6%
5~10人未満	9	8.2%
10~30人未満	12	10.9%
30~50人未満	22	20.0%
50~100人未満	32	29.1%
100~300人未満	20	18.2%
300人以上	11	10.0%
無回答	0	0.0%
合計	110	100.0%



I 環境に対する関心度

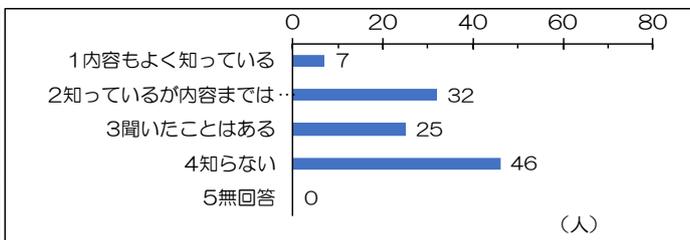
問4 あなたの現在、関心のある環境問題は？

	人数(人)	割合(%)
1工場煙突などからの大気汚染	6	2.0%
2自動車からの排出ガスによる大気汚染	14	4.8%
3家畜やごみ処理施設・処分場などからの悪臭	19	6.5%
4家庭からの生活排水や工場排水などの水質汚濁	16	5.4%
5自動車や工場などの騒音・振動問題	5	1.7%
6ごみ焼却場などの一般廃棄物処理施設の問題	16	5.4%
7工場からの産業廃棄物の排出及びその処理施設の問題	31	10.5%
8不法投棄など廃棄物の不適正な処理	24	8.2%
9ごみの減量化、リサイクルなどの問題	57	19.4%
10有害化学物質や農薬、ダイオキシン類、環境ホルモン、アスベストなどの問題	6	2.0%
11地下水の汲み上げなどによる地盤沈下	2	0.7%
12地下水や水道水源の汚染問題	3	1.0%
13森や林、河川などの自然環境の破壊	23	7.8%
14里山・田畑などの身近な自然環境の消失	11	3.7%
15地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題	39	13.3%
16マイクロプラスチックによる河川、海洋汚染	19	6.5%
17特に関心がない	2	0.7%
18その他	1	0.3%
19無回答	0	0.0%
合計	294	100.0%



問5 伊賀市環境基本条例に基づき策定された「伊賀市環境基本計画」(2007年度~2015年度)を知っていますか。

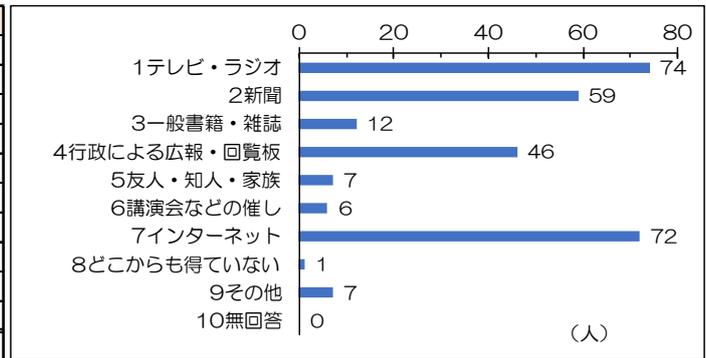
	人数(人)	割合(%)
1内容もよく知っている	7	6.4%
2知っているが内容まではよくわからない	32	29.1%
3聞いたことはある	25	22.7%
4知らない	46	41.8%
5無回答	0	0.0%
合計	110	100.0%



II 環境の情報について

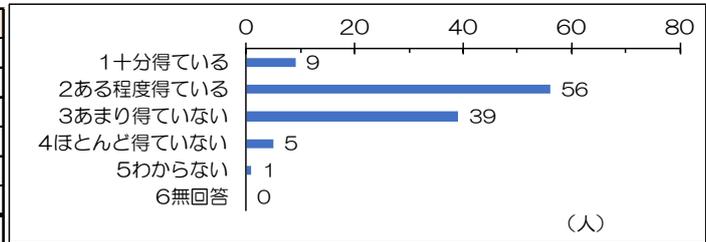
問6 環境に関する情報はどこで入手しますか。

	人数(人)	割合(%)
1テレビ・ラジオ	74	26.1%
2新聞	59	20.8%
3一般書籍・雑誌	12	4.2%
4行政による広報・回覧板	46	16.2%
5友人・知人・家族	7	2.5%
6講演会などの催し	6	2.1%
7インターネット	72	25.4%
8どこからも得ていない	1	0.4%
9その他	7	2.5%
10無回答	0	0.0%
合計	284	100.0%



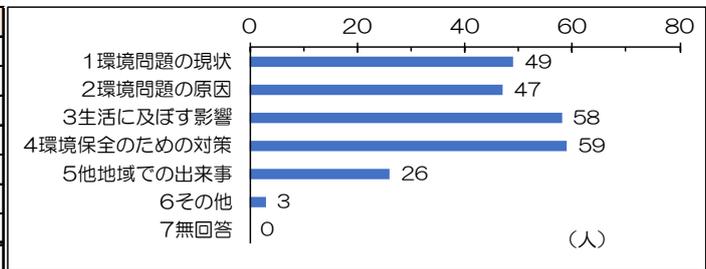
問7 環境に関する情報入手は十分ですか。

	人数(人)	割合(%)
1十分得ている	9	8.2%
2ある程度得ている	56	50.9%
3あまり得ていない	39	35.5%
4ほとんど得ていない	5	4.5%
5わからない	1	0.9%
6無回答	0	0.0%
合計	110	100.0%



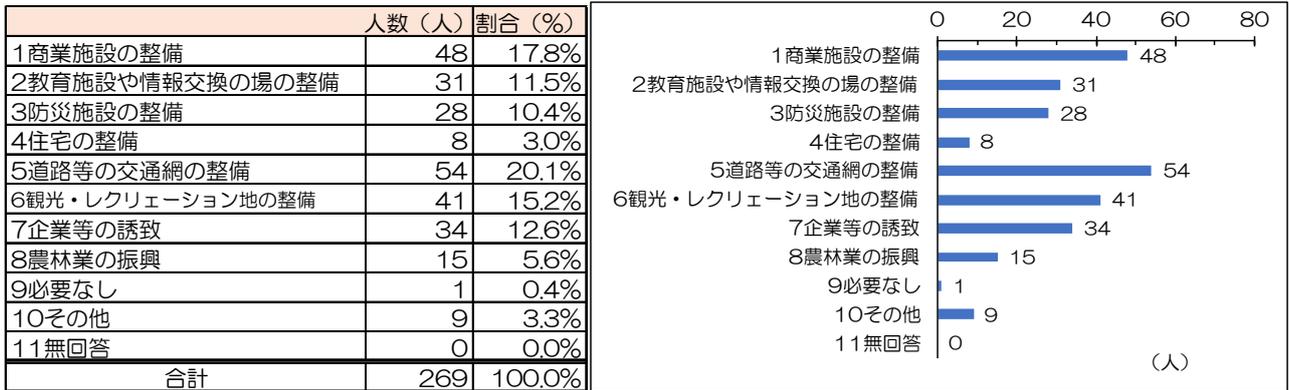
問8 環境に関して、不足している(知りたい)情報は何か。

	人数(人)	割合(%)
1環境問題の現状	49	20.2%
2環境問題の原因	47	19.4%
3生活に及ぼす影響	58	24.0%
4環境保全のための対策	59	24.4%
5他地域での出来事	26	10.7%
6その他	3	1.2%
7無回答	0	0.0%
合計	242	100.0%

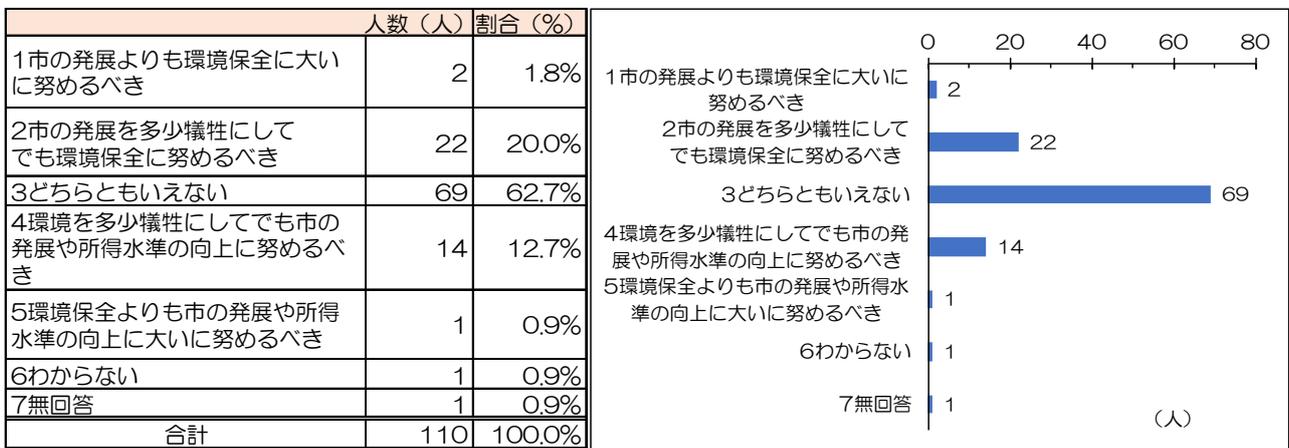


Ⅲ 望ましい環境像

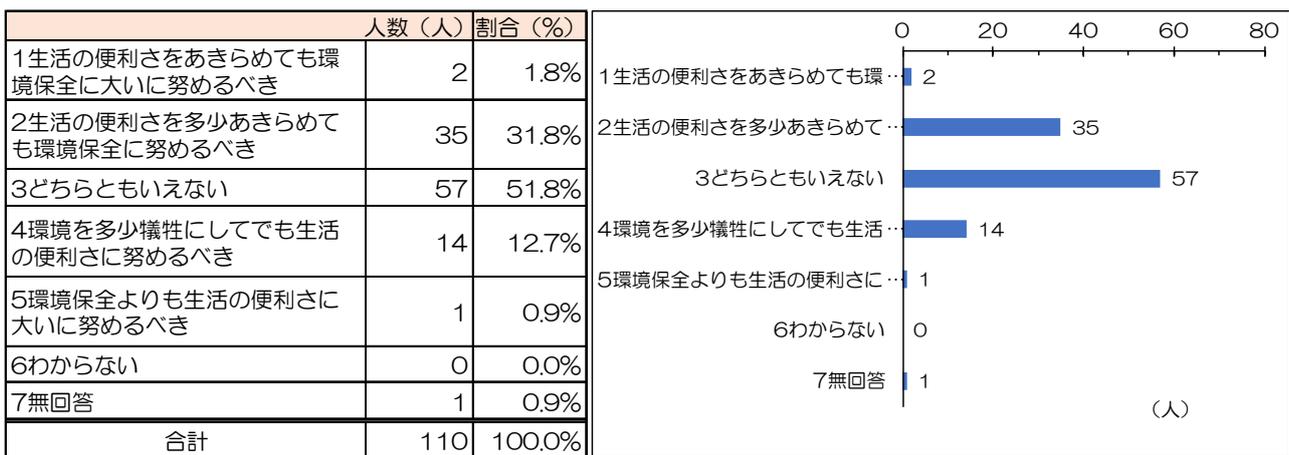
問9 地域の発展、活性化のため、伊賀市として最優先で取り組むべきものは何ですか。



問10 環境を守ることと伊賀市の発展のための開発や施設整備を進めることとどちらを優先すべきですか。

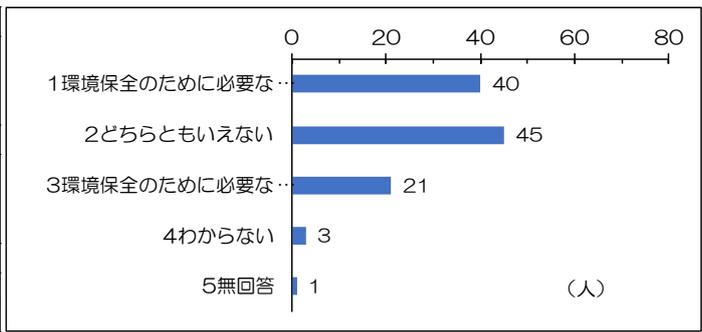


問11 環境を守ることと私たちのくらしの便利さを求めることとどちらを優先すべきですか。



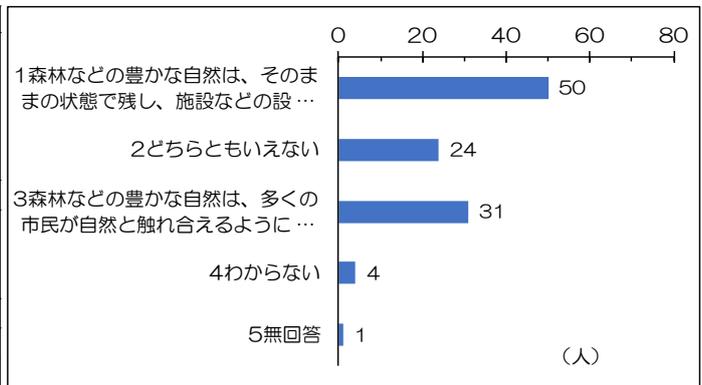
問12 環境を守るために、私たちに費用の一部を負担することなどについて賛成ですか。

	人数(人)	割合(%)
1環境保全のために必要な費用を商品価格やサービスに上乗せすることはやむを得ない	40	36.4%
2どちらともいえない	45	40.9%
3環境保全のために必要な費用を商品価格やサービスに上乗せすることは避けるべき	21	19.1%
4わからない	3	2.7%
5無回答	1	0.9%
合計	110	100.0%



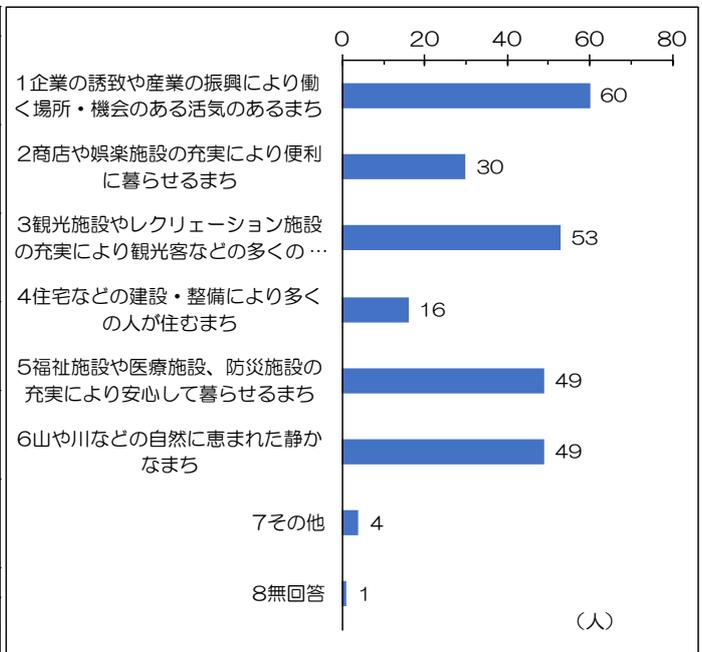
問13 自然との触れ合いのための施設の整備は必要だと思いますか。

	人数(人)	割合(%)
1森林などの豊かな自然は、そのままの状態を残し、施設などの設置はできるだけ必要なもののみにとどめるべき	50	45.5%
2どちらともいえない	24	21.8%
3森林などの豊かな自然は、多くの市民が自然と触れ合えるように施設整備を進めるべき	31	28.2%
4わからない	4	3.6%
5無回答	1	0.9%
合計	110	100.0%



問14 伊賀市全体のイメージとして、どのような市のイメージがふさわしいと思いますか。

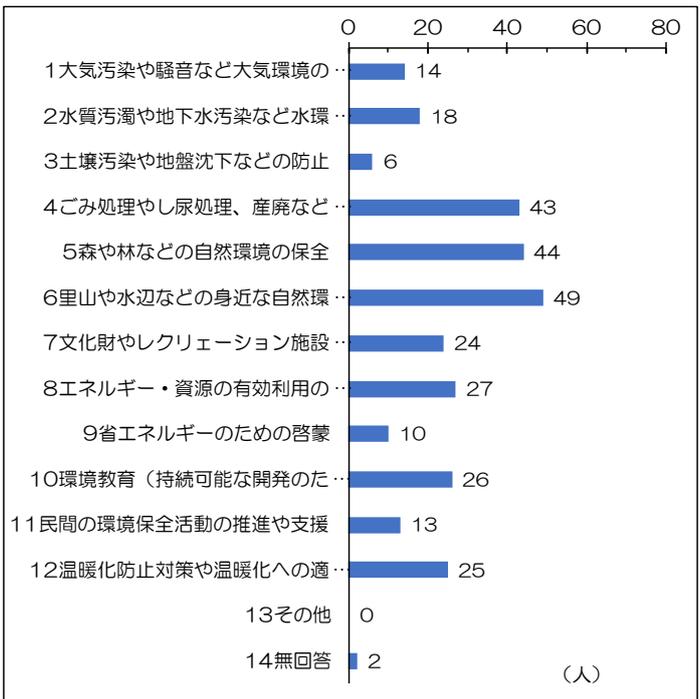
	人数(人)	割合(%)
1企業の誘致や産業の振興により働く場所・機会のある活気のあるまち	60	22.9%
2商店や娯楽施設の充実により便利に暮らせるまち	30	11.5%
3観光施設やレクリエーション施設の充実により観光客などの多くの人が訪れるまち	53	20.2%
4住宅などの建設・整備により多くの人が住むまち	16	6.1%
5福祉施設や医療施設、防災施設の充実により安心して暮らせるまち	49	18.7%
6山や川などの自然に恵まれた静かなまち	49	18.7%
7その他	4	1.5%
8無回答	1	0.4%
合計	262	100.0%



IV 環境保全に対する取り組み

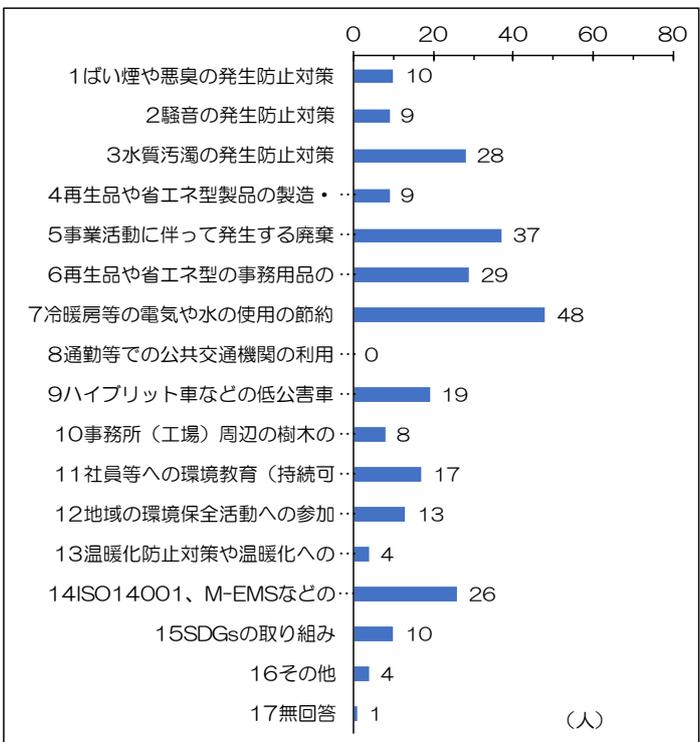
問15 環境保全のため、伊賀市として取り組むべきものは何ですか。

	人数(人)	割合(%)
1大気汚染や騒音など大気環境の保全	14	4.7%
2水質汚濁や地下水汚染など水環境の保全	18	6.0%
3土壌汚染や地盤沈下などの防止	6	2.0%
4ごみ処理やし尿処理、産廃などの廃棄物処理	43	14.3%
5森や林などの自然環境の保全	44	14.6%
6里山や水辺などの身近な自然環境の保全	49	16.3%
7文化財やレクリエーション施設の整備	24	8.0%
8エネルギー・資源の有効利用のための施策	27	9.0%
9省エネルギーのための啓蒙	10	3.3%
10環境教育(持続可能な開発のための教育など)	26	8.6%
11民間の環境保全活動の推進や支援	13	4.3%
12温暖化防止対策や温暖化への適用のための対策	25	8.3%
13その他	0	0.0%
14無回答	2	0.7%
合計	301	100.0%



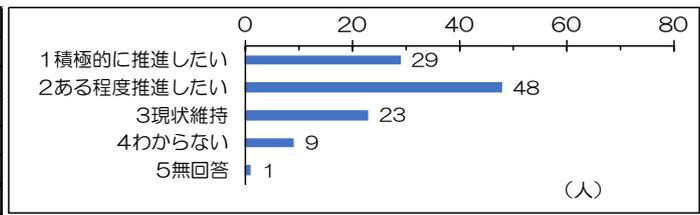
問16 貴事業所では環境保全のためにどのような取り組みを行っていますか。

	人数(人)	割合(%)
1ばい煙や悪臭の発生防止対策	10	3.7%
2騒音の発生防止対策	9	3.3%
3水質汚濁の発生防止対策	28	10.3%
4再生品や省エネ型製品の製造・販売	9	3.3%
5事業活動に伴って発生する廃棄物(産業廃棄物)の発生抑制	37	13.6%
6再生品や省エネ型の事務用品の購入	29	10.7%
7冷暖房等の電気や水の使用の節約	48	17.6%
8通勤等での公共交通機関の利用促進	0	0.0%
9ハイブリット車などの低公害車の導入	19	7.0%
10事務所(工場)周辺の樹木の植栽等の緑化	8	2.9%
11社員等への環境教育(持続可能な開発のための教育など)	17	6.3%
12地域の環境保全活動への参加やボランティア活動への協力	13	4.8%
13温暖化防止対策や温暖化への対応のための対策	4	1.5%
14ISO14001、M-EMSなどの環境マネジメントシステムの導入	26	9.6%
15SDGsの取り組み	10	3.7%
16その他	4	1.5%
17無回答	1	0.4%
合計	272	100.0%



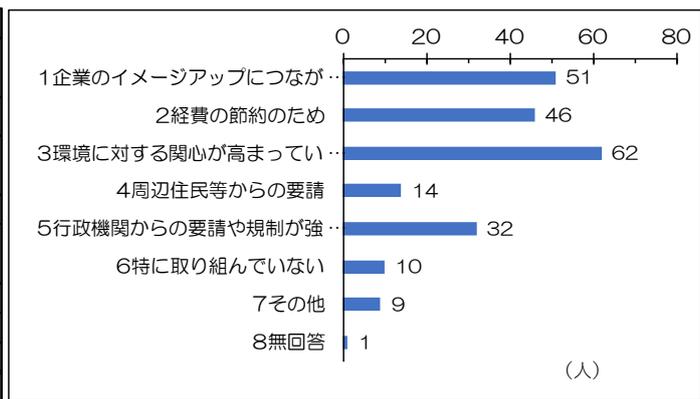
問17 貴事業所では今後、環境保全活動を推進したいとお考えですか。

	人数(人)	割合(%)
1積極的に推進したい	29	26.4%
2ある程度推進したい	48	43.6%
3現状維持	23	20.9%
4わからない	9	8.2%
5無回答	1	0.9%
合計	110	100.0%



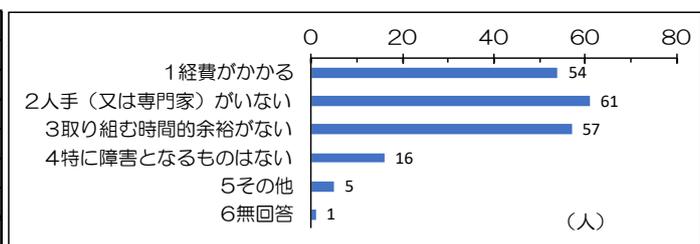
問18 貴事業所が環境保全活動に取り組む理由についてお伺いします。

	人数(人)	割合(%)
1企業のイメージアップにつながるため	51	22.7%
2経費の節約のため	46	20.4%
3環境に対する関心が高まっているため	62	27.6%
4周辺住民等からの要請	14	6.2%
5行政機関からの要請や規制が強化されるため	32	14.2%
6特に取り組んでいない	10	4.4%
7その他	9	4.0%
8無回答	1	0.4%
合計	225	100.0%



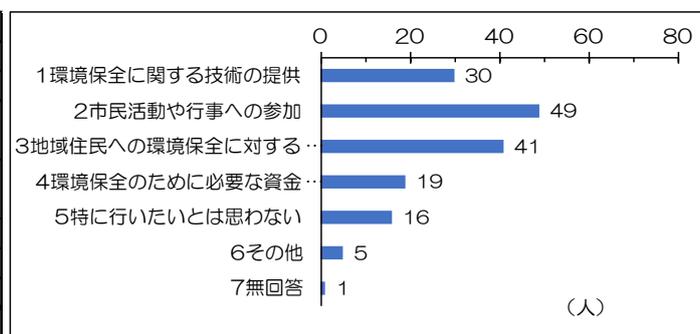
問19 貴事業所が環境保全活動に取り組むのに障害となっているものについてお伺いします。

	人数(人)	割合(%)
1経費がかかる	54	27.8%
2人手(又は専門家)がいない	61	31.4%
3取り組む時間的余裕がない	57	29.4%
4特に障害となるものはない	16	8.2%
5その他	5	2.6%
6無回答	1	0.5%
合計	194	100.0%



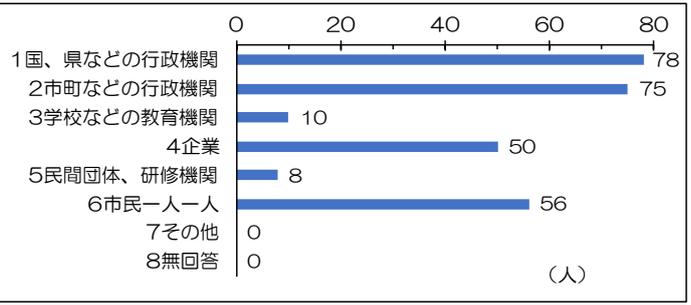
問20 貴事業所が今後行いたい(参加したい)環境保全活動について。

	人数(人)	割合(%)
1環境保全に関する技術の提供	30	18.6%
2市民活動や行事への参加	49	30.4%
3地域住民への環境保全に対する啓蒙活動	41	25.5%
4環境保全のために必要な資金(費用)の提供	19	11.8%
5特に行いたいとは思わない	16	9.9%
6その他	5	3.1%
7無回答	1	0.6%
合計	161	100.0%



問21 環境保全のために最優先で取り組むべき期間は。

	人数(人)	割合(%)
1国、県などの行政機関	78	28.2%
2市町などの行政機関	75	27.1%
3学校などの教育機関	10	3.6%
4企業	50	18.1%
5民間団体、研修機関	8	2.9%
6市民一人一人	56	20.2%
7その他	0	0.0%
8無回答	0	0.0%
合計	277	100.0%



問22 貴事業所は環境保全に取り組むために、行政（伊賀市）に対してどのような支援を望みますか。

	人数(人)	割合(%)
1環境保全に関する技術の提供	41	18.4%
2環境保全に関する情報の提供	71	31.8%
3事業所への環境に関する勉強会等の教育活動	24	10.8%
4環境保全活動に対する助成（融資）等金銭的援助	51	22.9%
5環境関連の条例等、さらなる法令の整備	27	12.1%
6特に望まない	7	3.1%
7その他	1	0.4%
8無回答	1	0.4%
合計	223	100.0%

